

エコフェア 2011 in UBE 環境セミナー報告書

■開催日時 10月29日(土) 第1部 13:00~14:30

第2部 15:00~16:30

■会場 ときわ湖水ホール ミーティングルーム

■タイトル/講師 第1部:「地球を救うヒーローは、だれ?」

高知工科大学 八田章光 教授

第2部:「“あまおと”からはじまる雨水活用」

福井工業大学 笠井利浩 准教授

■セミナー参加者数 第1部:28名

第2部:32名

■講演要旨

第1部

- ・ 講師持参の自転車発電機を使い、人のパワーを見える化し、人のパワーを基準(「1人分」=100W)に、家電や自家用車などのエネルギーを考える。我々がいかに大きなエネルギーを使っているか、また発電所の発電量の大きさがよく分かる。
- ・ いまエネルギーは石油やウラン等をエネルギー源としているが、石油などの化石燃料の使用により温室効果ガスが増加し地球温暖化を招き、様々な異常が地球上で起きている。(クイズを交えながら)
- ・ 石油やウランなどエネルギー資源を今のまま使い続けるとやがて資源を採り尽してなくなってしまう。そうならないために、君たちが新しいエネルギー源を見つけて地球を救わなくてはならない。



第2部

- ・ 様々な楽器による音と映像により会場で雨を体感しながら、雨に関する知識と、雨水活用について講師の体験報告
- ・ 雨水活用設備は、資材生産時にCO₂排出量が多いため、金を掛けるとライフサイクル全体ではCO₂削減効果が得られない。
- ・ 実験 ①雨水は天然の蒸留水、洗濯水として優れていることの泡立ち実験
②CO₂排出量(g/日・人)をドライアイスを使って見える化

- ・ 笠井先生の妹さんによる音響効果で（バイオリンの演奏などあり）ユニークで楽しい講演会であった。



■アンケート セミナー参加者にアンケートを実施した。設問と回答は本文の後に記載

■感想

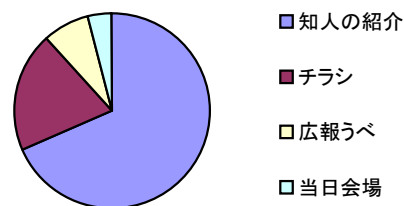
1. 多数の聴講者（特に児童）の参加を期待したが、残念ながら聴講者の参加については天候の影響があるとはいえ期待外れであった。
2. 講演は、第1部（体験、クイズ）、第2部（実験、音楽、映像）を使った、面白く、楽しく、ためになる、充実した内容だった。
3. 両講師には、遠方から来ていただき、充実した講演をしてもらったこと、感謝に耐えない思い。折角の良いセミナーを多くの児童が聴講できるよう検討をしたい。

以上

環境セミナーアンケート 設問と回答

1. この環境セミナーをなにによって知りましたか？

知人の紹介	17名	71%
チラシ	5名	21%
広報うべ	2名	8%
当日会場	1名	4%



2. 聴講したセミナーは？

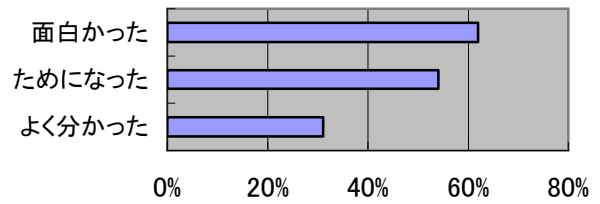
両方	11名
第1部	2名
第2部	11名

3. 講演について感想

1) 第1部

面白かった	8名	62%
ためになった	7名	54%
よく分かった	4名	31%

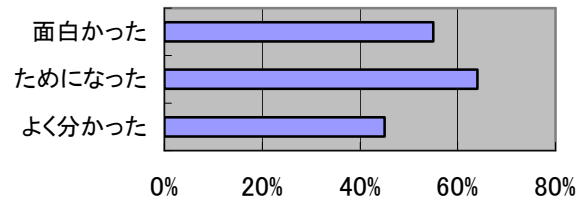
※複数回答あり



2) 第2部

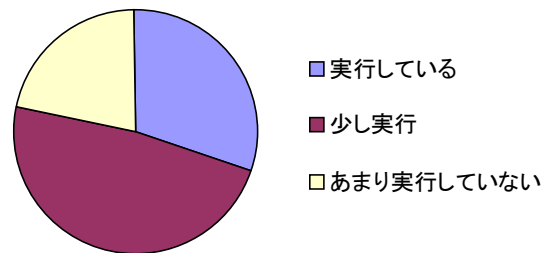
面白かった	12名	55%
ためになった	14名	64%
よく分かった	10名	45%

※複数回答あり



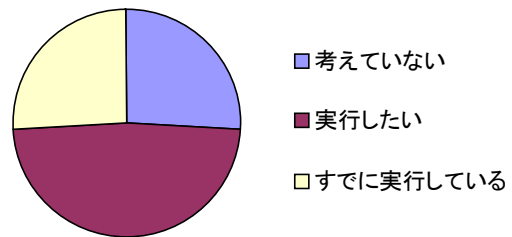
4. 省エネ（節電）への取り組み

実行している	7名	29%
少し実行	11名	46%
あまり実行していない	5名	21%



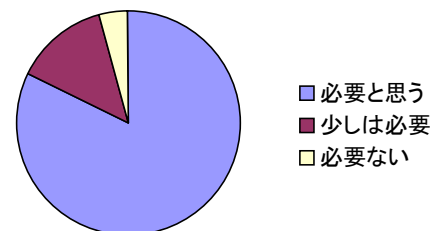
5. 新エネルギー（太陽熱、太陽光、風力、地熱など）の利用

すでに実行している	6名	25%
実行したい	11名	45%
考えていない	6名	25%



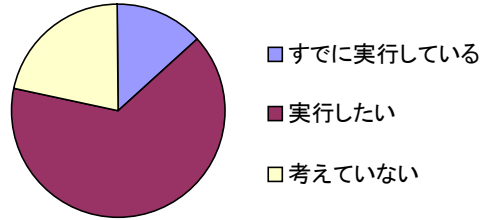
6. 雨水利用は必要か？

必要と思う	19名	79%
少しは必要	3名	13%
必要ない	1名	4%



7. 雨水利用の取り組み

すでに実行している	3名	13%
実行したい	15名	63%
考えていない	5名	21%



8. 感想、意見

第1部:大変よくわかった。子供にもよくわかる説明であった。具体的な数字で説明されたのがよかった。
第2部:雨水活用の実例を多く紹介され役に立った。具体的な数字の説明でよく理解出来た。
楽しいセミナーでした。
(1)第2部:エコ活動に伴うCO2発生量を考慮した発想が重要なことが認識できる教育システムに興味をもった。小学生への教育に有効と思う。
(2)1部:エネルギー単位に“人力”を使う教育は分かり易いものとなり有益な手法と思う。
1,2部共:学校教育に適したものと思った。素晴らしい企画でした。音楽演奏も良かった。
知らないことを学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。
スライド(スクリーン)はとても見やすかったですが、実演されている内容が低かったので高くして見やすくするとよかったです。ありがとうございました。
バイオマス、雨水利用は、日本においては、また活用範囲はかなり広いと思いました。
第2部:エコの減少を自分の工夫、考えで子供達に教えることはよい考えと思います。
第1部:大変有意義、若い世代、小中学校の年代に解かりやすく、今後世界のエネルギーを理解できるよう、先生方に生徒の呼びかけをお願いしたいものです。
今までは雨水利用により、水の使用量の軽減や、防災面にしか目がいっていなかったが、雨水利用により、電気使用量を減らすことでCO2削減を行えることがわかった。また雨水を洗濯水として使うことで汚れが取れやすいことは知っていたが実際に見ることでその理由がよくわかった。
とても分りやすく、少しでも取り組んで行きたいなあ～と思える内容で良かったと思いました。最後のバイオリン、とてもピッタリ合って最高でした。
親として祖父として、自然の恵みの活用と環境負荷の軽減について、子や孫達に少しでも伝えられたらと、認識を新たにしました。笠井先生の今後のご活躍をお祈りします。ありがとうございました。(男性63才)
宇部市全体で積極的な取り組みで感心した。市民の意識が高くなり成果があがることを期待。
①雨水利用のための設備設置で発生するCO2量を回収するためには、百年以上も必要だということが分かったが、一般的に帳尻が合うためには、何をどのようにしたら良いのか？
②また、コスト面でペイするためには、雨水の使用量と必要使用期間はどの程度となるのか？
ありがとうございました。定量的な現場教育、雨水やCO2を目でみせる、手でさせるなど、実感を持つ方策が参考になりました。装置を作る、測る工夫もすばらしいですね。(村上ひとみ)
雨水利用に関して日本は大変遅れていることが改めて良く分かった。ダムを作って水道局が出すCO2をどれだけ減らせるかが、原単位で表現できているのだろうか？最近の電気料金との関係で気になった。

以上